



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブルボン

コード番号 2208 URL <https://www.bourbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 匡慶

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務管理部長 (氏名) 間島 孝弘 TEL 0257-23-2333

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	28,314	4.5	1,525	△5.2	1,500	△21.7	1,013	△33.3
2025年3月期第1四半期	27,085	9.0	1,609	140.0	1,916	118.5	1,518	184.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,130百万円 (1.4%) 2025年3月期第1四半期 1,114百万円 (87.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	41.91	—
2025年3月期第1四半期	63.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	93,702	62,175	66.4	2,571.98
2025年3月期	95,839	61,492	64.2	2,543.62

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 62,175百万円 2025年3月期 61,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	18.50	—	18.50	37.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	53,600	4.5	1,500	△27.2	1,600	△22.2	1,000	△41.9	41.37
通期	118,000	4.0	6,000	△19.7	6,200	△18.3	4,300	△22.7	177.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	27,700,000株	2025年3月期	27,700,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	3,525,787株	2025年3月期	3,524,794株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	24,174,687株	2025年3月期1Q	24,024,341株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、米国通商政策が及ぼす世界経済への影響や国際情勢不安などの景気下振れリスクが存在する先行き不透明な状況で推移しました。

菓子・飲料・食品業界は、原材料価格ならびにエネルギー価格の高止まりへの対応に加え、長引く物価上昇から消費マインドが弱含みで推移する中、依然として消費者の生活防衛意識は高く節約志向への対応が続きました。

このような状況下、当社グループは食品製造企業として一貫して品質保証第一主義に徹し、安全で安心な実質価値の高い商品の安定した供給と、消費者ニーズにお応えしたサービスの提供など、顧客満足度の向上に向けた活動を推進してまいりました。具体的には、消費マインドが伸び悩む中であっても、消費者に選んでいただけるおいしさと付加価値が調和した商品の開発を進め、求められる価値の実現に機敏かつ柔軟に取り組みました。あわせて、企画提案型の営業活動と店頭フォローを積極的に行い、お客様の笑顔と満足につながる活動を推進しました。

その結果、価格改定の影響を受けた商品群があったものの、ロングセラー商品を中心としたビスケット品目やキャンデー品目、積極的な商品展開を図った冷菓品目が順調に推移したことから、売上高は前年同期を上回りました。利益面では、生産性の向上とコストの削減、経費の効率的な使用に努めたものの、各種コスト上昇の情勢下で製造原価が増加したことから、営業利益は前年同期を下回りました。加えて、前年同期に計上した為替差益ならびに投資有価証券売却益の反動から、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期を下回りました。

営業品目別の概況

菓子の合計売上高は、27,016百万円（対前年同期比103.6%）となりました。

菓子では、ビスケット品目を中心として、豆菓子、キャンデー、デザート、米菓、スナック、チョコレートなどの品目を展開しています。

ビスケット品目は、風味豊かな「バジルクラッカー」やひとくちサイズの焼菓子「クランベリーチーズケーキ」と「アップルビスキュイ」を発売し、品揃えの強化を図りました。さらには、クラウンメロンの味わいが楽しめるメロンフェアや、長崎県五島列島産「矢堅目の塩」を加えた商品群をフェア展開するなど品目全体の活性化にも取り組みました。また、節約志向を背景として選ぶ楽しさを提供するプチシリーズや、「セブール」などの個性的でリーズナブルな商品“ホームカフェビスケット”シリーズの拡販を図りました。さらには、ロングセラー商品「ルマンド」などの“オリジナルビスケット”シリーズや、“スタンダードビスケット”シリーズなどが順調に推移しました。

キャンデー品目は、気温の上昇に伴い「ミネラル塩飴」が順調に推移したことに加え、小袋タイプの錠菓「ミネラル塩タブレット for ACTIVE」にもご支持をいただきました。“フェットチーネグミ”シリーズでは、“ニッポンエール”コラボレーション商品として「フェットチーネグミPREMIUMピーチパイ味」を展開しました。

チョコレート品目は、「アルフォートミニチョコレート」シリーズや、「エブリバーガー」で期間限定商品を発売し積極的な展開を行いました。また、「ひとくちルマンド」と「ひとくちラングレイス」を対象としたキャンペーンを実施し、認知の向上と活性化を図りました。

菓子全体の売上高は、前年同期を上回りました。

飲料・食品・冷菓・その他の合計売上高は、1,298百万円（対前年同期比128.2%）となりました。

飲料品目は、ミネラルウォーター商品群が順調に推移したことに加え、「ルマンドココアドリンク缶180」にご支持をいただきました。

食品品目は、保存缶商品をリニューアルしたほか、「のせて焼くメロンパンシート」などをはじめとした“かんだんクッキング”シリーズの拡販を図りました。また、機能性食品群では、機能性表示食品の粉末ココア「肌サボココア」や、栄養機能食品として展開を始めた「ミルクココア」の取り扱いが拡大しました。

冷菓品目は、「ルマンドアイス宇治抹茶」の発売やルート限定商品の発売、また、前期末に発売した「ルマンドムース」の販売エリア拡大を図り商品認知の向上を図りました。加えて、「ミネラル塩バニラアイス」の発売で品揃えの強化を図りました。

その他では、通信販売事業は、季節や催事に合わせた企画商品やECチャネル限定商品などメーカーならではの品揃えにより活性化を図るとともに、リピーターの増加と継続的な販路拡大に取り組みました。

自動販売機事業は、設置場所の改善や配送の効率化、自動販売機1台当たりの収益性向上に継続して取り組んだほか、新規開拓に努め売り上げの底上げを図りました。

酒類販売事業は、エチゴビールブランド商品群で期間限定商品「シトラストラタハラタウトラディション」を発売し活性化を図ったほか、輸出先の拡大を図り堅調に推移しました。

飲料・食品・冷菓・その他全体の売上高は、前年同期を上回りました。

以上の営業活動により業績の向上に努めてまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は28,314百万円（対前年同期比104.5%）、営業利益は1,525百万円（対前年同期比94.8%）、経常利益は1,500百万円（対前年同期比78.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,013百万円（対前年同期比66.7%）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は44,316百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,977百万円減少となりました。これは主に、季節変動要因による受取手形及び売掛金の減少と原材料及び貯蔵品の増加があったことによるものです。固定資産は49,386百万円となり、前連結会計年度末に比べ159百万円減少となりました。

この結果、総資産は93,702百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,137百万円減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は23,074百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,810百万円減少となりました。これは主に、法人税等の支払による未払法人税等の減少および季節変動要因による未払費用の減少があったことによるものです。固定負債は8,452百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少となりました。

この結果、負債合計は31,526百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,820百万円減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は62,175百万円となり、前連結会計年度末に比べ683百万円増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と剰余金の配当があったことによるものです。

この結果、自己資本比率は66.4%（前連結会計年度末64.2%）となりました。

(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は15,396百万円となり、前連結会計年度末（17,391百万円）に比べ1,994百万円減少となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は238百万円（前年同期1,922百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,463百万円と法人税等の支払額1,553百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,171百万円（前年同期1,190百万円の支出、対前年同期比98.4%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,152百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は584百万円（前年同期453百万円の支出、対前年同期比128.9%）となりました。これは主に、配当金の支払額447百万円および長期借入金の返済による支出77百万円があったことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年4月25日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,391	15,414
受取手形及び売掛金	14,771	11,356
商品及び製品	5,341	6,166
仕掛品	790	1,154
原材料及び貯蔵品	7,440	9,558
その他	563	673
貸倒引当金	△3	△8
流動資産合計	46,294	44,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,414	17,249
機械装置及び運搬具（純額）	13,194	13,739
その他（純額）	10,040	9,966
有形固定資産合計	40,649	40,955
無形固定資産		
のれん	519	491
その他	987	941
無形固定資産合計	1,507	1,432
投資その他の資産		
その他	7,388	6,997
投資その他の資産合計	7,388	6,997
固定資産合計	49,545	49,386
資産合計	95,839	93,702

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,169	12,892
短期借入金	810	810
未払法人税等	1,747	122
賞与引当金	1,477	641
その他	9,680	8,606
流動負債合計	25,884	23,074
固定負債		
社債	300	300
長期借入金	2,055	1,978
役員退職慰労引当金	288	276
退職給付に係る負債	4,934	4,900
負ののれん	7	7
その他	875	990
固定負債合計	8,462	8,452
負債合計	34,347	31,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	7,108	7,108
利益剰余金	53,947	54,513
自己株式	△903	△903
株主資本合計	61,189	61,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	957	1,104
為替換算調整勘定	△961	△960
退職給付に係る調整累計額	306	276
その他の包括利益累計額合計	303	420
純資産合計	61,492	62,175
負債純資産合計	95,839	93,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	27,085	28,314
売上原価	20,228	21,281
売上総利益	6,857	7,033
販売費及び一般管理費	5,247	5,508
営業利益	1,609	1,525
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	48	52
持分法による投資利益	38	0
為替差益	190	—
負ののれん償却額	0	0
その他	41	26
営業外収益合計	320	80
営業外費用		
支払利息	3	6
為替差損	—	87
減価償却費	5	3
その他	4	7
営業外費用合計	13	105
経常利益	1,916	1,500
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	251	0
特別利益合計	251	0
特別損失		
固定資産処分損	2	0
減損損失	0	0
投資有価証券評価損	1	37
特別損失合計	3	37
税金等調整前四半期純利益	2,164	1,463
法人税、住民税及び事業税	281	△39
法人税等調整額	363	490
法人税等合計	645	450
四半期純利益	1,518	1,013
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,518	1,013

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,518	1,013
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110	146
為替換算調整勘定	△146	0
退職給付に係る調整額	△146	△29
その他の包括利益合計	△404	117
四半期包括利益	1,114	1,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,114	1,130
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,164	1,463
減価償却費	1,237	1,285
のれん償却額	28	28
受取利息及び受取配当金	△49	△53
負ののれん償却額	△0	△0
支払利息	3	6
持分法による投資損益 (△は益)	△38	△0
為替差損益 (△は益)	△178	87
投資有価証券売却損益 (△は益)	△251	△0
固定資産処分損益 (△は益)	2	△0
減損損失	0	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	3	37
売上債権の増減額 (△は増加)	3,149	3,415
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,237	△3,306
仕入債務の増減額 (△は減少)	481	721
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,191	△1,345
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△39	△12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△59	△77
その他	△1,195	△982
小計	2,828	1,267
利息及び配当金の受取額	49	53
利息の支払額	△3	△6
法人税等の支払額	△951	△1,553
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,922	△238
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,422	△1,152
投資有価証券の取得による支出	△352	△3
投資有価証券の売却による収入	682	0
その他	△98	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,190	△1,171
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△77	△77
リース債務の返済による支出	△51	△60
配当金の支払額	△324	△447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△453	△584
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	293	△1,994
現金及び現金同等物の期首残高	19,575	17,391
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,868	15,396

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業は、食品製造企業として同一セグメントに属する、ビスケット類、米菓類等の菓子及び飲料食品等の食料品の製造・販売並びにこれらの付随業務であり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。